

中山 大学

二〇一二年攻读硕士学位研究生入学考试试题

科目代码: 635

科目名称: 基础日语

考试时间: 1月8日 上午

考生须知

全部答案一律写在答题纸上, 答在试题纸上的不计分! 请用蓝、黑色墨水笔或圆珠笔作答。答题要写清题号, 不必抄题。

一、下線部の漢字に振り仮名をつけなさい。(計10点)

- (1) その絵の美しさに見惚れた。
- (2) 「日本的経営」という言葉が誇らしげに口にされる傾向が見られる。
- (3) うまくいかなかったので彼は大いに焦れた。
- (4) 尺八の音色が美しいのは、生まれてずっとためた音を、人の息に誘われて引き出すからだ。
- (5) 鴨の子が、親を中心に逆立ちをしては川底の藻をあさり、中州に憩う姿が見られるようになった。
- (6) 明々と照明された室内は昼を欺く明るさであった。
- (7) 彼らはげげんな顔をして、カンカン照りの日向で太陽に灼かれている。
- (8) 空気を遮断すれば火は消える。
- (9) サーカスのピエロがおどけた仕種で観客を爆笑させた。
- (10) 農民たちは、雲龍寺の境内に集まった。

二、次の語句の片仮名を漢字に改めなさい。(計10点)

- (1) 君にはシンキの取引先開拓のほうを頼みたい。
- (2) 道路がすっかりフサがって通れない。
- (3) その方法はまったく彼のソウイによったものである。
- (4) ゼロックスはもともと商品名としてゾウゴされた言葉であった。
- (5) 魔法使いは王女にノロいをかけた。
- (6) その後ヨウジョウに、一人で但馬の城崎温泉へ出かけた。
- (7) 着物が薄くて腕がスキ通ってみえる。
- (8) 元来西欧近代とは決して近代主義、合理主義のイチマイイワではないのである。
- (9) 光をあびて、桜の花の一つ一つ、花びらの一枚一枚がにおいたち、なんというか、すつきりとした情念をハナっている。
- (10) 教師の立場で学生答案を読むとレイアウトのユウセツが歴然とする。

三、次の文の下線をつけた言葉の意味について日本語で説明しなさい。(計20点)

- (1) この竹紙は、なかなか味があって、素人が漉いたのでも、筆ののりがいい。
- (2) 彼はさりげない調子でその問題に触れた。
- (3) 英語では、日本語の会話のように頻繁に相づちを打つことはしない。
- (4) 正造の狙いは、もの見事に外されてしまったわけだ。
- (5) 彼女はしばしば人の意表をつくような事をする。
- (6) 掃除に手が回らないのか、どことなく埃がたっているように見えるのが侘びしげだった。

- (7) まだ入りたてですので、社内の事情はよく分かりません。
- (8) 冬の間中央に置いてあったコタツを片付けたら、妙に間が抜けた部屋になった。
- (9) 課長はうちの会社にとってかけがえのない人だ。
- (10) 階段は担いで昇らねばならないし、砂利道やぬかるみときた日には、もうお手上げだ。

四、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(計30点)

縁側の前にビワの木があった。そのまたのところに、二匹の雨蛙がくっついていて、大きいのと、小さいのと、仲よく並んでいたのである。庭をぶらついていて、善太はそれを見つけた。目ばたきもせず、二匹はいつまでも動かなかった。こいつ生きているのかしらん。初めそう思った。よく見ればノドの下がヒクヒク小さく動いていた。やっぱり生きているんだな。そう思うと、この二匹が兄弟のように思えてきた。大きいのが善太、小さいのが三平。

「こいつら目をあけて眠ってやがるんだな。」

善太はひとりごとをいって見た。留守していて、もうA久しい。①ものもいってみたいのである。

(ア) 「やい、起きろ。起きて、二匹でお話しろ。」

木をたたいてみるが、二匹はやはり動こうとしない。善太は思い出した。蛙というものは、やさしく、ノドにさわってやると、気持ちがいいのか、鳴き出すというのである。

「ようし」

②彼は家に入り、火ばしの先に綿をまいて持ってきた。これをソット小さな蛙のノドに近づけ、指でひねって先をまわした。

(イ) 「鳴け、鳴け。」

小さい声でいうのである。蛙は鳴くかわりに、ソロソロ、はい始めた。③彼は木の上に登ってこうとするのである。

(ウ) 「馬鹿ッ、上になぞ登ったら、雀に見つかって、とってくわれるぞッ。」

全くその時、屋根の上で雀がチュッチュツ遊んでいた。小蛙はそんなことはおそれもせず、上へ上へ登りつづける。こんどは大きい方が前足を立て、少しBいずまいを直した。コロコロ鳴き始めた。

「鳴いたッ。」

思わず善太は言ったのだが、それは小蛙を呼んでいるようにも思えたのである。上へは行っていく小蛙に顔を寄せて行ってやる。

(エ) 「コラッ、兄きが呼んでるぞッ。」

小蛙は登りつづける。

(オ) 「全くあいつ、向こう見ずだからなあ。」

善太は④三平のことを思うのである。見ているうちに、とうとう小蛙は二間も上の枝の上に、青い小さな点となって、ちょうど草の葉っぱのようにくっついた。その時である。⑤思ったとおりに木の上で雀の羽音が聞こえた。同時に、上から露のようなものが落ちてきた。目の前を青いものが飛び下りた。

「ソラッ、いったとおりで。」

小蛙は下の地面に、前足を立ててすわっていた。思い出したように、その辺をピョン、ピョンとはねまわった。善太はつかまえて、兄きのいる木のまたのところへ返してやりたいと、両手で押さえ押さえした。蛙は飛んだりはおねたりして逃げまわした。

「いいや、いまに蛇にのまれるんだ、せつかく、ひとがもとの所に返してやろうと思っているのに——」

雨が降ってきたので、善太は家にはいった。一時間もたったであろうか。雨があがって、日がさしてきた。空にうっすら虹が立った。外に出て、ビワの木のまたをのぞくと、あれ、またそこに二匹の蛙が並んでくっついていて、善太は下に落ちている一枚の大きなビワの葉を拾い、

蛙の上の木と木に渡し、c さながら屋根のようなものを造ってやった。㉞兄弟の二匹の蛙がかわいそうなのである。

(カ) 「屋根だぞ。家だぞ。そこから出るな。」

いってきかせるのである。二匹は動かず、その葉の下に、いつまでも眠ったようにすくんでいた。

(1) 線A～Cの言葉の意味はそれぞれどれが正しいか。一つ選びなさい。(3×2点=6点)

A 久しい (ア 待ちどおしい イ ずいぶんたった ウ すっかり慣れた エ たいくつしはじめた)

B いずまい (ア すわりかた イ 考え方 ウ 顔つき エ シャベリ方)

C さながら (ア かしながら イ それで ウ うまく エ ちょうど)

(2) 線①から、善太のどのような心が分かるか。次のうち一つ選びなさい。(2点)

ア 蛙が生きているのだとわかって、安心している。

イ たいくつしのぎに、蛙をからかってみようかと思っている。

ウ ひとりぼっちでいるので、さびしい気持ちになっている。

エ 蛙に話しかけて、不思議な経験を試みたいと思っている。

(3) 線②③の「彼」を、それぞれ本文中の別の言葉二字で書きなさい。(2×2点=4点)

② () ③ ()

(4) 線④の「思う」の内容は、次のうちどれが最も適当か。一つ選びなさい。(2点)

ア 三平がいっしょにいればいいのに。

イ 三平はほんとうに向こう見ずでいやなやつだ。

ウ いまは三平がいないので安心だ。

エ この小蛙とちがって、三平はおとなしく注意深いやつだ。

(5) 線⑤の「思ったとおり」は、「だれ」が「どんな」ことを思ったのか。次の文の□の中に適当な言葉を入れなさい。(2×2点=4点)

□ が □ と思った。

(6) 線⑥で、「兄弟の二匹の蛙」といいきっているところに、善太のどのような気持ちがこめられているか。次のうち一つ選びなさい。(2点)

ア 大小二匹の蛙なので、兄弟であるにちがいないと思っている。

イ 親蛙がいないので、蛙たちはさびしいだろうと思っている。

ウ 蛙たちは、いっしょなのでいいなあと思っている。

エ 兄弟のように、いつでもなかよくしてほしいと思っている。

(7) この文章から考えて、善太と三平はどのような間がらだと思うか。それが表れているところを抜き書きしなさい。(4点)

(8) 線(ア)～(カ)の善太の言葉には、一つだけ他と性質の違うものがある。その記号を書き、どのような点が違うか説明しなさい。(2+4点=6点)

記号：() (2点)

説明：() (4点)

五、次の古典を現代日本語に訳しなさい。(計10点)

今は昔、竹取のおきなといふ者ありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さかきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてみたり。おきな言ふやう、「われ朝ごと夕ごとに見る竹の中におはするにて知りぬ。子となりたまふべきひとなめり。」とて、手にうち入れて、家へ持ちて来ぬ。妻のおむなに預けて養はず。うつくしきこと限りなし。いと幼ければ、籠に入れて養う。

(『竹取物語』による)

六、次の文章を中国語に訳しなさい。(計25点)

私の生き方は、こんなふうには、あまり威勢の良いほうではない。生来の性格の上に、多くの挫折と苦悩を経て辿りついた結果である。幼い時から青春まで病気がちであった。物心のつく頃から、両親の愛憎の姿を、人間の宿命とも、業とも見てきた。外面にあらわそうとしない私の心の深淵。精神の形成される時期のはげしい動揺。兄弟の若い死。父の家業の倒産。芸術の上での長い苦しい模索。戦争の悲惨。

しかし、私の場合は、こんなふうだったから生の輝きというものを、私なりにつかむことが出来たのかもしれない。私が倒れたままになってしまわずに、どうにか、いろんな苦しみに耐え得たのは、意志の強さとか、それに伴う努力というような積極的なものよりも、一切の存在に対する肯定的な態度が、いつの間にか私の精神生活の根柢になっていたからではないだろうか。少年期の私は、何事をも疑ってみる時期があった。あらゆる存在に対する不信の思いに耐えられない自己を持てあましていたこともある。しかし、ある諦念ともいうものが、私の中に根ざしてきて、私の支えとなったのだと思う。

(東山魁夷『風景との対話』による)

七、次の中国語を日本語に訳しなさい。(計15点)

(1) 过了一会儿，奶奶突然心血来潮似地讲起了她小时候的事情。

(2) 总而言之我爱的是他这个人，所以不管他是穷还是富，我对他的心是不变的。

(3) 她不顾父母的反对委身于自己喜欢的男人，可身上带了17处伤回到了娘家。

(4) 要不是这次孩子减肥失败，她还会反省自己平时对孩子的过分宠爱。

(5) 惠子没边没际地乱想着，毫无目的地在街上乱逛。

八、下記のテーマで作文(800～1000字)を書きなさい。(計30点)

「私の結婚観」